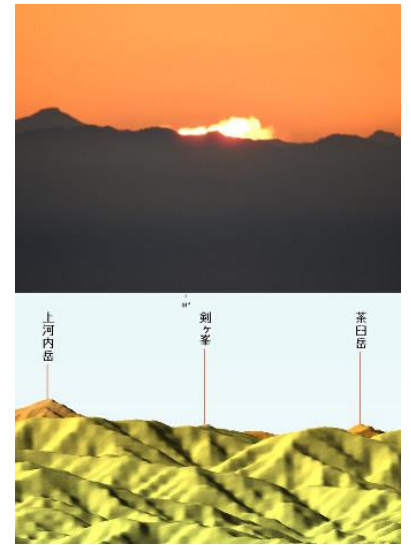
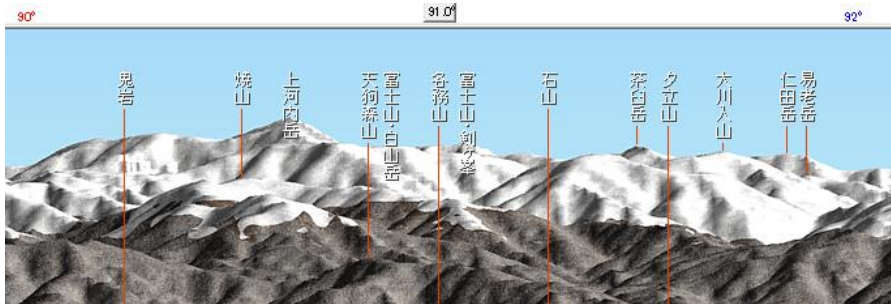


伊吹山

澤井

2018/04/22 (日) 付毎日新聞に伊吹山から撮影した富士山の写真(右図)が掲載された。新聞写真では十分には納得できなかったのでカシミール(50mメッシュ)を使用して再現を試みた。山頂からの眺望では富士山が見つからず、視点を1000m上げてようやく富士山を見つけ、視野を絞りながら視点を下げた。



山頂から100m視点を上げた眺望が上図である。さらに視点を下げると20m付近から近くの尾根が視野をふさいで富士山が見えなくなることが分かった。つまり、「伊吹山頂から富士山は見えない」という結論を得る。

ここでネットを調べると、同じ記事に関して数人投書していて、5mメッシュなら見えるとか、気象条件によって見えることがあるとか論じていた。できれば早急に5mメッシュ対応で調べて見たい。

注) : xmメッシュ : 等尺で描かれた地図(平面に記述)に、一辺xmのメッシュをかぶせて、その結び目にあたる地図の経度・緯度・高度その他の情報をデジタル化。xmは小さい方が精密に地形を記述できるが、測量のコスト問題で普及しなかった。近年、人工衛星からの電波測量で安価に測量できるようになり5mメッシュも利用できるようになった。